

じゅしょうばい 「寿昌梅」名前の由来



今から 300 年以上も前、8 代将軍吉宗の時代が始まった頃に寿昌院という女性によって植えられたといわれています。寿昌院は、老中で小田原城主の大久保忠増の三番目の夫人でした。享保二年（1717）にこの場所に黄檗宗の「慈岳山松連寺」を開きました。明治6年（1873）に廃寺になるまで156年間続きました。